

令和2年度学校関係者評価票

学校名：歯学部附属歯科衛生専門学校

【学校関係者評価の主な評価内容】

○自己点検・評価結果の内容が適切かどうか ○自己点検評価の結果を踏まえた今後の改善方針が適切かどうか ○学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

評価項目	専門学校による自己点検・評価		学校関係者評価				
	取組状況・評価に対する意見	取組評価	取組状況・評価に対する意見等	優れている点、継続してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組評価
カリキュラムポリシーに基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	教育課程の編成・実施方針に基づき、理解度や経験に合わせて、入学時から卒業時までの一貫したカリキュラムの中で実施している。また、個々の授業科目の内容及び方法は、授業計画（シラバス）に掲載している。授業科目は全て必修である。	A	規程に基づくカリキュラムが生まれ、様々なことに丁寧にわかりやすくシラバスに記載されている。教育課程の編成が適切に行われている。計画に沿って授業、実習が行われている。臨床実習においては到達目標や行動目標を明確にしている。	シラバスの内容が分かりやすくとでも学生に親切である。各授業ごとの目標の記載もなされていて、学生のモチベーションに繋がると思われる。学生の理解力や習得状況に応じて、個々にきめ細かい指導がなされている。	学生の学習意欲向上の一環として、介護関係やケアマネージャーなど歯科衛生士以外の資格を取得できる制度があると良い。	特になし	A
成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づき、定期試験・実習試験等を行いその成績において単位認定のための評価を行っている。また、授業計画（シラバス）において成績評価の基準とその比率を明示している。定期試験・実習試験等を行いその成績において卒業判定のための評価を行っている。卒業が認められた者には、卒業証書が授与され、歯科衛生専門学校課程歯科衛生士学科を修了した者は、専門士の称号が授与される。	A	定期試験、実習試験等の成績において評価、その基準はシラバスHPに掲載されている。成績評価や単位認定及び学位授与が適切に行われている。効果的に教育を行うための取り組みがされており、計画に沿って授業、実習が行われている。	授業に対するアンケートを実施し、結果によって授業内容を改善している。教員間で密に意見を交換し学生に適切な指導を行なっている。	継続して学生からの評価が低い授業内容は改善していただきたい。	特になし	A
ディプロマポリシーに明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	学修成果の多角的評価方法として、国家試験合格率や就職率で評価を行っている。	A	計画に沿って授業、実習が行われている。臨床実習においては到達目標や行動目標を明確にしている。	国家試験合格率や就職率が毎年ほぼ100%で素晴らしい。今後も募集定員充足により質が落ちないようにして欲しい。	特になし	就職活動の際に1社ずつしか受けてはいけなと言われた記憶があるが、開業医のような面接のみであったり合否までの期間が短い場合を除き、複数に応募した方が効率的で就職率を保てるのではないかと思われる。	A
教員組織の編成に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編成しているか。	教員構成は以下のとおりである。60歳以上 1名、41～48歳 4名	A	教員組織の編成が適切に構成され、指導力、習熟学生の様々なサポート等に理想的である。教員は講習会や協議会に定期的に参加しており、情報共有や指導力向上に努めている。	40代中心は、色々な面で安定している。教員に対する講習会や認定更新のお知らせが、内容や手順までわかりやすくインフォメーションされていると思われる。各教員に適した講習会への参加がされている。	定年や退職等の時に、現状をキープできる配慮ができていればよいと思われる。	特になし	A
【重点目標】 募集定員充足のための活動	入学後の学校生活を学生が容易に想像できるように、パンフレットの画像変更や学生コメントを毎年更新している。今後はコロナ禍の影響で、これまで以上にオンライン上での情報発信の需要が高まる事が予想される。よって進学相談会においては、十分な感染対策を行った上での学校、病院見学に加え、専門学校ホームページを利用し画像や動画等を配信し、本学に興味を持っていただいた受験者に新たな形で情報発信していく。また来校困難な受験者に対しては遠隔会議アプリのZoomを用いた遠隔進学相談会を今後も継続し、受験者の多様な要望に応えられるよう努めていく。さらには、高等学校より学校説明会の要望があった際には、全参加を基本とし募集定員充足達成を目指す。	B	パンフレットの内容、コメント、写真が一部新しくなっている。コロナ禍で説明会の中止が相次いだり、資料請求が例年の2倍以上あったとのことで、その効果を期待したい。総合型選抜を増やすことでの志願者増を見込んでいることも同様、社会の状況に合わせて柔軟に対応していると思われる。時代や環境に合わせ、学生募集に積極的に努めていることが評価できる。	パンフレットの内容が一部更新されている。時代に合った取り組みに努力されている。動画をホームページに配信するのが、学内の様子が生徒や保護者に伝わりやすく、大変良い取り組みである。実習や座学、課外授業等、さまざまな場面の動画を適宜更新してほしい。ホームページだけでなく、SNSの利用を検討してもいいのではないか。総合型選抜の回数を増やすことで、より多く学生を確保に努めている。	中には前年度のパンフレットをご覧の方もいるかもしれないので、在校生Voiceを新しく他の方へお願いするのもよかったかと思われる。パンフレットに記載されている卒業生の言葉に「大変」や「厳しい」という表現が用いられており、不安を抱いてしまう学生がいるのではないかとと思われる。昨年の意見同様、男子学生の受け入れを検討してほしい。学校案内のパンフレットは、附属歯科衛生専門学校と附属歯科技工専門学校を分けて作成し、掲載内容をより充実したものにするべきである。ホームページの内容を見直し、興味を引く内容にしてほしい。	現状では校舎が古いので、見学の際のポイントは見込めない。大学附属のメリットがあまり感じられない。校舎がリニューアルし、大学同等となれば、大いに志願者増が見込まれると思われる。COVID-19のパンデミックで失業者が増加している状況下において、歯科衛生士の強みである求人率の高さや再就職のしやすさをグラフ化等でわかりやすく提示したり、将来性があり長期的に就業できる職種であることをきちんとアピールする。	B
【重点目標】 学業成績不良を理由とした退学者・休学者の減少	1年生前期において、履修科目数の多さや授業についていけないことを理由に退学・休学を希望する学生がいることを鑑み、学習の習慣づけならびにレディネスの形成を目的に入学が決定した学生に対し入学前教育プログラム（提携先：進研アド 入学前教育センター、学生の受講義務：任意）を導入した。今後は入学前教育の効果を分析し、入学後の学習活動が円滑に行われ、学習意欲の向上・維持がされるようにしていく。	B	総合型選抜での入学者が特に授業についていけなくなる例が多く、入学前教育の業者委託を導入し、現時点25名の希望があるとのことで、期待ができる。新入生の過半数(32名中25名)が受講を希望しており、学生のニーズにかなった取り組みである。入学前教育プログラムを導入したことにより、学生の意識が変わり、退学・休学希望者が減少したことは大いに評価できる。	入学前に準備する場を設けてもらえることは、学生の意欲増進に繋がると思われる。学業成績不良を理由とした退学者・休学者の減少という問題を重点目標として、組織全体の課題にし、改善の為に具体的な対策を講じている。今後も学習意識が維持できるよう教育・指導してほしい。	希望しない少数派の学生が心配である。能力に余裕があるならばよいが、そうでない場合、さらに差がついてしまう可能性はどうかの検討が必要である。	特になし	B